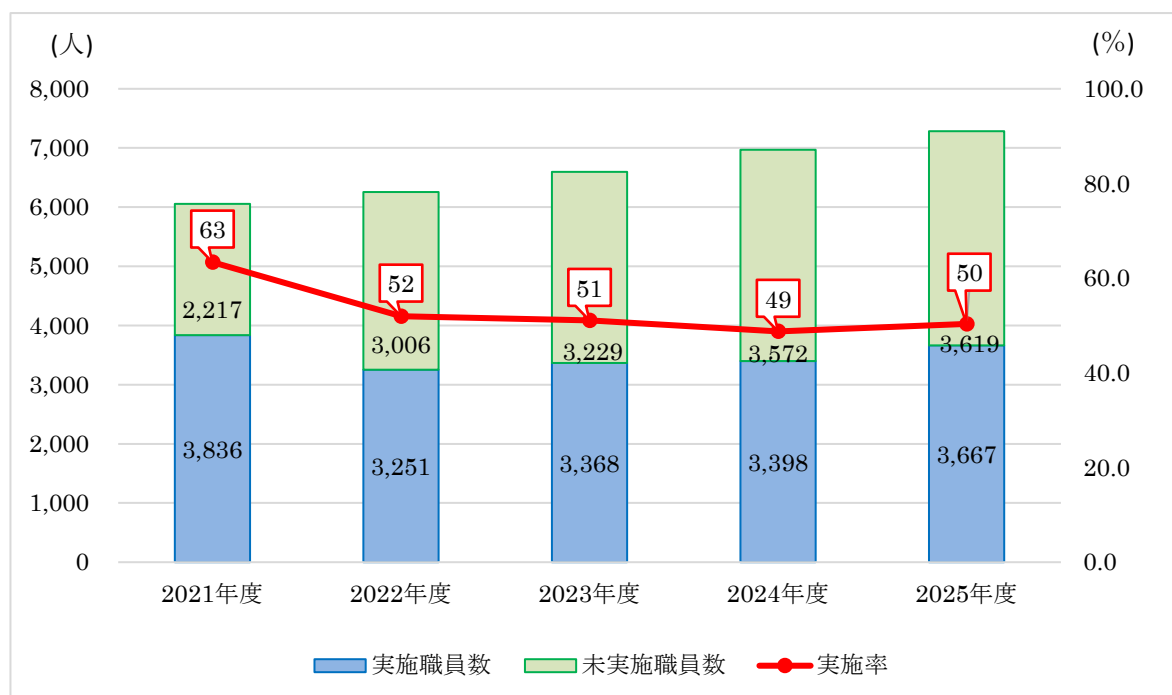


職員のインフルエンザワクチン予防接種率



健康管理部では、全職員がインフルエンザワクチンを接種できるように計画し、案内しているが、2025年度のインフルエンザワクチンの接種率は、50.0%と横ばいで推移している。

(院外で接種する職員は除く)

インフルエンザに職員が罹患した場合、患者の安全にかかわる問題であり、また、人員不足を招くことから業務が制限され、診療に対しても影響を及ぼすことになる。予防接種率を上げることは、罹患の可能性が減少し、重症化も抑制され则认为するため、職員がインフルエンザワクチン接種を受けやすい環境を整備し接種を推奨していく。

データ提供 法人本部健康管理部